

平成 20 年度 高知南国道路外埋蔵文化財発掘調査

# 徳王子前島遺跡

## 現地説明会資料



地震の影響が顕著に出ている堆積層 (SD-1)

記者発表 平成 21 年 3 月 12 日 (木) 11 時～12 時

現地説明会 平成 21 年 3 月 14 日 (土) 13 時 30 分～15 時

(財) 高知県文化財団 埋蔵文化財センター

## 1. 業務委託名

平成 20 年度 高知南国道路外埋蔵文化財（徳王子大崎・前島遺跡）発掘調査業務委託

## 2. 目的

国土交通省が計画している高知東部自動車道路（南国安芸道路）の工事計画区域内に所在する遺跡の中で、工事によって影響を受ける部分について発掘調査を行った上で出土遺物等の整理作業を行い、遺跡の記録保存を図る。

## 3. 委託者

高知県教育委員会

## 4. 受託者

（財）高知県文化財団

## 5. 調査期間

自）平成 20 年 7 月 15 日

至）平成 21 年 3 月 31 日

## 6. 調査区

徳王子前島遺跡 平成 20 年 11 月～平成 21 年 3 月  
調査面積約 2,300 m<sup>2</sup>

## 7. 調査協力

香南市教育委員会

## 8. 主な検出遺構

古 代 溝跡、杭列、足跡

古代末～中世 溝跡、杭列

## 9. 調査成果

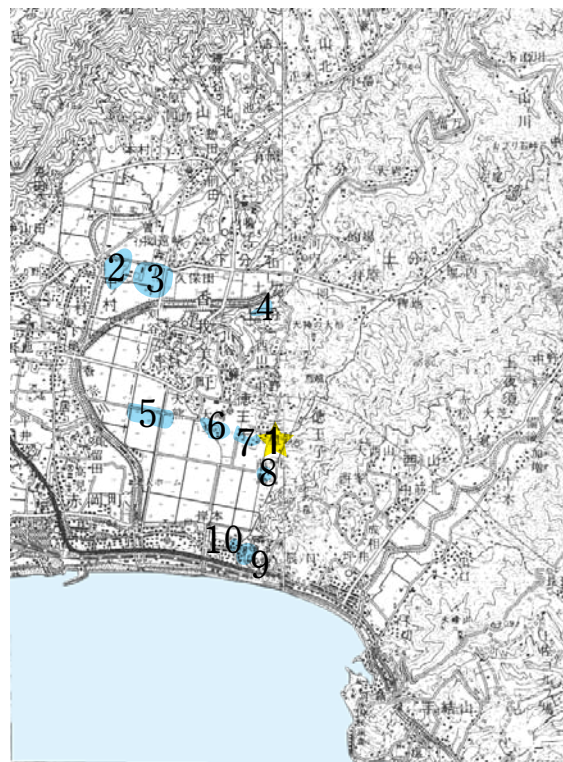
徳王子前島遺跡は、香南市香我美町徳王子前島地区に立地します。周辺には、下分遠崎遺跡、曾我遺跡、花宴遺跡、徳王子大崎遺跡、徳王子広本遺跡などが所在しています。

当遺跡の所在する地には「流田」のホノギが残っており、その小字名が示すように水はけが悪く、近・現代まで竹の暗渠を使用して耕作を行っていた様子が窺えました。そのため、建物跡などはなく、自然流路を利用した耕作地等を想定していました。

今回、調査区内を縦断する形で南北方向に伸びる幅約 3.0m の溝跡（SD-1）を検出しました。SD-1 は、大きく 2 層に分けることが出来ました。I 層からは、古代末～中世（10 世紀後半～12 世紀代）が、II 層からは古代（8 世紀代）の土器などが出土しています。

### 古代の耕作地？

SD-1 に沿って杭列や足跡などが見つかりました。また、わずかな高まりのある畦畔状遺構も検出しました。この地で耕作が行われていた可能性があり、分析結果によりさらに詳細な結果が出るものと思われます。



- |           |           |
|-----------|-----------|
| 1 徳王子前島遺跡 | 6 徳王子大崎遺跡 |
| 2 曾我遺跡    | 7 徳王子広本遺跡 |
| 3 下分遠崎遺跡  | 8 徳善城跡    |
| 4 十万遺跡    | 9 姫倉城跡    |
| 5 花宴遺跡    | 10 クノ丸遺跡  |



わずかな高まりのある畦畔状遺構



溝跡にそって残された人の足跡



### 県下初の古代木簡出土！

SD-1からは、完形の土器とともに、曲物や食前具など多種の木製品が出土しています。特にⅡ層からは木簡が見つかりました。内容は不明ですが、文字が書かれた古代木簡としては高知県初出土になります。現在までに2点を確認しており、今後の調査によってさらに増えることとされます。

### 県内最大の齋串<sup>いぐし</sup>、県内最多の出土！

さらに、Ⅱ層からは齋串と呼ばれる板の先端をとがらせて側面に切り込みを入れた串状の木製品が22点出土しています。なかには、上部が破損しているものの残存部だけで43cmを測る県下最大の齋串も見つかりました。出点数も県内で最多になります。

この他にも、墨で顔を描いた人形<sup>ひとがた</sup>が3点出土しており、祭祀的要素の強い遺物が目立ちます。



SD-1 から出土した高知県初出土の古代木簡



SD-1 I層出土 土師質土器



SD-1 から出土した大型の齋串



SD-1 から出土した搬入土器



SD-1 II層出土 土師質土器杯



SD-1 II層出土 曲物



SD-1 から出土した人形



SD-1 II層出土 高杯



複雑に入り組んでいる SD-1 の堆積層

### 地震の痕跡も確認！

多くの遺物が出土した SD-1 では、複雑な堆積の状況が確認出来ました。そのため、鉄砲水のような激しい氾濫が起きたものと考えていましたが、断面を詳細に検討した結果、地震による影響の可能性が高いことが判りました。SD-1 が埋没した後に激しい揺れが起こったようで、地盤の弱い溝跡が緩衝地となり、本来水平に堆積するはずの層が複雑に入り組んだようです。その他の断面にも、不自然な堆積層が認められ、何度か地震による影響を受けた様子が窺えます。

### 10. まとめ

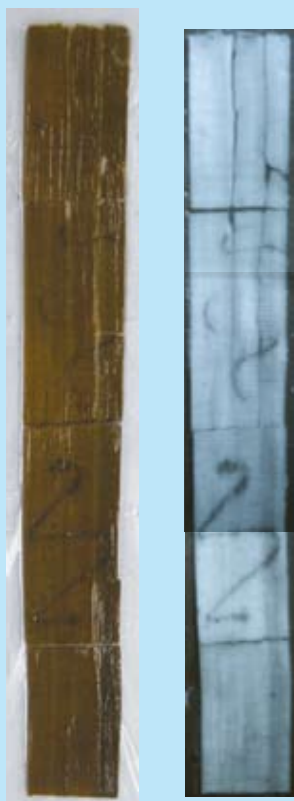
今回の調査では、SD-1 から完形の土器などとともに、斎串や人形など祭祀的要素の強い遺物が一括して出土しています。SD-1 は、耕作地に伴う用排水路だけでなく、祀りの場としても使用された特別な溝であったと思われる、古代の祀りの様相を示すものとして重要であると考えています。



祭祀が行われていた SD-1

### 木簡

木簡とは、木札に文字の書かれたものです。用途によって、荷札木簡・呪符木簡などに分類できます。木簡 1 に関しては、本来書き始める上端部に墨痕跡が認められず、中央部から書き始めています。そのため、習字木簡の可能性ががあります。木簡 2 は完存しており、類例がないため詳細は不明ですが、斎串や人形など祭祀的要素の強い遺物と供伴することから、呪符木簡の可能性ががあります。



木簡 2 (下：赤外線カメラにて撮影) S=1/2

木簡 1 (右：赤外線カメラにて撮影) S=1/2